

ラテン アメリカへの お誘い

近田 亮平 編
Ryohei Konta

社会を知り学んでみよう

An Invitation to
Latin America:

Let's Learn about and
Study Its Society



ラテン
アメリカへの
お誘い
社会を知り学んでみよう

近田 亮平 編
Ryohei Konta

An Invitation to Latin America:

Let's Learn about and Study Its Society

書名：ラテンアメリカへのお誘い——社会を知り学んでみよう——
編者：近田亮平（こんた りょうへい）

本書は「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示4.0国際」の下で提供されています。
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>



本書は、第三者の出典が表示されている箇所を除き、出典を明示することを条件に、どなたでも転載・複製・公衆送信など自由に利用できます。商用利用も可能です。出典の記載例は以下をご参照ください。
※編集・加工等して利用する場合は、編集・加工等を行ったことをかならず明示してください。

〈改変せず利用するときの記載例〉

出典：「ラテンアメリカへのお誘い——社会を知り学んでみよう——」(アジア経済研究所，2026) (該当ページの URL 表記，または該当ページ URL へのリンク)。

〈編集・加工等して利用するときの記載例〉

「ラテンアメリカへのお誘い——社会を知り学んでみよう——」(アジア経済研究所，2026) (該当ページの URL 表記，または該当ページ URL へのリンク) をもとに作成。

・ 第三者の権利を侵害しないようご注意ください

第三者が著作権を有しているコンテンツや、第三者が著作権以外の権利（例：写真における肖像権、パブリシティ権等）を有しているコンテンツについては、特に権利処理済であることが明示されているものを除き、利用者の責任で、当該第三者から利用の許諾を得てください。

・ 免責について

アジア経済研究所は、利用者が本書を用いて行う一切の行為（本書を編集・加工等した情報を利用することを含む）について何ら責任を負うものではありません。また、本書は、予告なく変更・移転・削除等が行われることがあります。

・ 作品利用時の連絡について

可能であれば、本書を利用された旨を下記までご連絡ください。

アジア経済研究所 学術情報センター 成果出版課

Tel : 043-299-9538 / E-mail : aib@ide.go.jp

目次

まえがき i

はじめに 日本で知られていないラテンアメリカ 1

- 第1節 日本の若い世代にとってのラテンアメリカ 2
——教育現場に立つ私たち教員の危機感——
- 第2節 教員と初学者の目線をもとにした探求型の教科書 3
- 第3節 ジェトロ・アジア経済研究所のラテンアメリカ教科書 5
- 第4節 テーマで選ぶ21世紀のラテンアメリカ社会 6

第1章 ラテンアメリカの麻薬問題 11 ——コカイン・ビジネスの形成と発展の事例から——

はじめに 12

- 第1節 アンデスのコカ栽培地域を歩いて浮かび上がった数々の疑問 13
- 第2節 ラテンアメリカ諸国を巻き込むコカイン禍 15
 - 2-1. コカイン・ビジネスの黎明期——ペルー, ボリビア, チリ—— 16
 - 2-2. 巨大カルテルの盛衰——コロンビア—— 16
 - 2-3. 新たなコカイン・ビジネスの拠点——メキシコ—— 18
- 第3節 コカイン・ビジネスへの対抗策 19
 - 3-1. 麻薬組織の解体 19
 - 3-2. 違法作物(コカ)の強制駆除のメリットとデメリット 19
 - 3-3. 代替作物導入の難しさ 21
- 第4節 21世紀のコカイン・ビジネスの展開 22
 - 4-1. 麻薬の合法化の試み 23
 - 4-2. 麻薬組織との対話の模索 23
 - 4-3. 麻薬ビジネスの拡大と暴力の深刻化 24
- 第5節 日本の視点から考える 25
——なぜコロンビアの違法なコカは根絶できないのか?——

第2章 ラテンアメリカの組織化された暴力 ——なぜラテンアメリカは危険な場所といわれるのか—— 31

はじめに 32

第1節 コロンビアの組織化された暴力のなかで
暮らしてきた人々をみつめて 33

第2節 ラテンアメリカ諸国を席卷してきた組織化された暴力の変遷 35

2-1. 反政府武装組織 36

2-2. 体制側の暴力 37

2-3. 麻薬組織の盛衰 39

第3節 注目される取組みと21世紀の顕著な変化 40

3-1. 20世紀における左翼ゲリラへの対応策 40

3-2. 強硬策への世論の支持 41

3-3. 移行期正義 42

COLUMN ① 麻薬問題を消費するエンターテイメント業界
——なぜ麻薬問題が娯楽のテーマとなるのか—— 47

第3章 ラテンアメリカの自然災害 ——21世紀における傾向と対策の変化—— 51

はじめに 52

第1節 太平洋越しに眺めた災害 53

第2節 ラテンアメリカにおける大規模災害 55

第3節 21世紀における新たな取組み 61

3-1. 災害の多次元性を問う 61

3-2. 災害発生後の緊急対応から防災力強化へのシフト 62

第4節 ラテンアメリカにおける災害リスク管理の背景
——日本との比較から—— 65

第4章 ラテンアメリカの公衆衛生 71
——「権利としての健康」の追求——

はじめに 72

第1節 身近だけどみえにくい公衆衛生 73
——映画で知った人工妊娠中絶——

第2節 ラテンアメリカ「発見」からの感染症・公衆衛生の歴史をたどる 75

2-1. ラテンアメリカの植民者を悩ませ続けた熱帯病 75

2-2. ラテンアメリカの医療・公衆衛生の特色 76

2-3. 社会・国家全体の保健体制の維持 77

2-4. 「顧みられない熱帯病」とラテンアメリカ全体の公衆衛生の改善 79

第3節 保健医療制度を改善する取組み 81

3-1. コスタリカの保健医療制度 81

3-2. ブラジルの無料公的医療制度 82

第4節 COVID-19パンデミックが社会に与えた影響 84
——21世紀の顕著な変化——

第5節 日本とのつながり 86

第5章 ラテンアメリカのジェンダー・LGBTQ+ 91
——権利と暴力が共存する世界——

はじめに 92

第1節 熱く燃えるプライドパレードと国際女性デー 93

第2節 ラテンアメリカの現状 95

2-1. 女性とLGBTQ+の実状 95

2-2. 女性とLGBTQ+に対する暴力 99

第3節	注目される動きと21世紀の顕著な変化	103
3-1.	女性に対する暴力への抗議運動——アルゼンチン, チリ——	103
3-2.	包括的性教育——アルゼンチン——	104
3-3.	社会的包摂の推進とバックラッシュ	106
第4節	日本における女性とLGBTQ+の現状	107

COLUMN ②	性差のない表現	111
	——インクルーシブ・ランゲージ——	

第6章	ラテンアメリカの人権	115
	——人権はどのように侵害され, 守られているのか——	

	はじめに	116
第1節	アルゼンチンで目撃した人権侵害の事例	118
	——人権侵害の概念は広い——	
第2節	人権の概念	119
第3節	ラテンアメリカの人権状況	121
3-1.	ラテンアメリカにおける自由権の状況	121
3-2.	ラテンアメリカにおける社会権の状況	126
第4節	21世紀におけるラテンアメリカの人々	129
	——人権を守る制度と問題点——	
4-1.	自由権の国際的保護制度と問題点	129
4-2.	人権保護の制度としてのオンブズマン制度	132
	おわりに——ラテンアメリカからみた日本の人権状況——	135

第7章 **ラテンアメリカの宗教** 139
——カトリック大陸の現在(いま)を知る——

はじめに 140

第1節 100万人が70キロメートルを歩くルハン巡礼 141

第2節 カトリック大陸ラテンアメリカ 143

2-1. カトリック世界の構築 143

2-2. シンクレティズム(宗教混淆) 145

2-3. カトリック教会の改革 146

2-4. 宗教人口の変化 147

第3節 注目される動きと21世紀の顕著な変化 151

3-1. 福音派の政治進出——ブラジル—— 151

3-2. カトリック教会の社会支援——アルゼンチン—— 152

第4節 ラテンアメリカから日本を理解する 154

COLUMN ③ 政治を公言するラテンアメリカのマスメディア 158
——ブラジルのGloboと「文化」予算——

第8章 **ラテンアメリカの格差** 163
——貧困が社会全体に及ぼす影響を考える——

はじめに 164

第1節 ブラジルでみたストリートの賑やかさ 165

第2節 格差が容認された時代といま 166

2-1. 歴史的構築物としての格差 166

2-2. 貧困層の不安定性と格差が社会に及ぼす影響 169

第3節 注目される取組みと21世紀の顕著な変化 172

3-1. 格差解消に向けたタテのつながりの模索と
アファーマティブ・アクション 174

- 3-2. 文学作品にみる格差の告発 176
第4節 日本の格差, ラテンアメリカの格差 178

第9章 **ラテンアメリカの社会保障** 183
——格差を反映した保障——

- はじめに 184
第1節 アルゼンチンとハイチでの医療格差の体験 185
第2節 ラテンアメリカの社会保障制度 186
2-1. 社会保険の特色 186
2-2. 拡大する社会扶助・家族に依存するケア 192
第3節 21世紀におけるアルゼンチン社会保障の特色 195
第4節 ラテンアメリカ全体の概観と変容 197
おわりに——ラテンアメリカからの日本への提言—— 200

第10章 **ラテンアメリカの社会扶助「条件付現金給付」政策** 205
——データで変化をみてみよう——

- はじめに 206
第1節 21世紀に普及した社会扶助——条件付現金給付政策—— 207
第2節 条件付現金給付政策の普及と社会の変化 209
第3節 人的資源としての価値を高める投資 211

第11章 **ラテンアメリカの社会運動** 215
——社会的に排除された貧困層の参加——

- はじめに 216
第1節 ブラジルでの社会運動との出会い 217
——サンパウロの住宅運動連盟UMM——

- 第2節 ラテンアメリカの社会運動 219
- 第3節 注目される取組みと21世紀の顕著な変化 224
 - 3-1. 都市貧困層の住宅問題 224
 - 3-2. 民主主義の定着と参加型スタイル 226
- 第4節 ラテンアメリカの社会運動の背景 227
 - 日本との比較から——

第12章 **ラテンアメリカにおけるヒトの移動** 233 ——グローバル化と社会変容——

- はじめに 234
- 第1節 2016年リオデジャネイロ五輪の開会式 235
- 第2節 「ヒトの移動」への関心の高まり 236
 - 2-1. 「ヒトの移動」とは？ 237
 - 2-2. 統計の落とし穴と分類の難しさ 237
- 第3節 ラテンアメリカ・カリブ海地域における「ヒトの移動」 238
 - 3-1. 域外への移動と域内での移動 238
 - 3-2. 米国への移動 241
 - 3-3. ラテンアメリカ域内における移動 241
- 第4節 「ヒトの移動」がもたらす変化 243
 - 4-1. ラテンアメリカ域内における移民の社会統合 243
 - 4-2. ジェンダーからみた「ヒトの移動」 245
 - 4-3. 「ヒトの移動」と海外送金 245

執筆者一覧

執筆者一覧

こん たりょうへい
近田亮平 (編者, はじめに, 第10章, 第11章, コラム③)

日本貿易振興機構アジア経済研究所・主任研究員, 東京外国語大学・教授。博士 (学術)。専門: ブラジル地域研究, ラテンアメリカの社会問題。主な著作: *The Housing Movement and the Urban Poor in São Paulo: Agency, Structure, and Institutionalization* (2019年), 『躍動するブラジル——新しい変容と挑戦』(編著, 2013年) など。

せんだいゆういち
千代勇一 (第1章, 第2章, コラム①)

帝京大学外国語学部・准教授。上智大学グローバル・スタディーズ研究科博士後期課程。専門: コロンビア・エクアドル地域研究, 文化人類学, 紛争と平和構築, 麻薬ビジネスなど。主な著作: 『辺境からコロンビアを見る——可視性と周縁性の相克』(共編著, 2024年), 「コロンビア初の左派政権誕生の背景と今後の展望——特集新しい左派政権は変化をもたらすか?」(2022年) など。

こばやしたかのり
小林貴徳 (第3章)

専修大学国際コミュニケーション学部・教授 (2026年4月~)。神戸市外国語大学大学院外国語学研究科博士課程。専門: メキシコ地域研究, 文化人類学, 防災, 文化遺産など。主な著作: 「マンガに描かれた古代メソアメリカ (前編) ——手塚が拓き, オカルトブームに興り, 少女マンガを彩る」(2025年), 「民俗文化財としてのジャガー戦士——現代メキシコにおける先住民政策と文化の資源化」(2024年), 「生活再建にむけた挑戦, 野ざらしの復興住宅——メキシコ, 被災した先住民村落での聞き取り調査から」(2023年) など。

おくだわかな
奥田若菜 (第4章, 第8章)

神田外語大学外国語学部・教授。博士 (人間科学) 大阪大学。専門: ブラジル地域研究, 文化人類学, 不平等, 感染症など。主な著作: 「人工中絶論争の政治化——ブラジルにおける女性の権利運動をめぐる対立」(2023年), 『格差社会考——ブラジルの貧困問題から考える公正な社会』(2021年), 『貧困と連帯の人類学——ブラジルの路上市場における一方的贈与』(2017年) など。

わたべ なな
渡部奈々 (第5章, 第7章, コラム②)

東京理科大学教養教育研究院・准教授 (2026年4月～)。博士 (学術) 早稲田大学。専門: アルゼンチン地域研究, 宗教社会学, ジェンダー, LGBTなど。主な著作: 『ラテンアメリカのLGBT——権利保障に関する6か国の比較研究』(共著, 2024年), 「アルゼンチンにおける人工妊娠中絶合法化」(2024年), 「アルゼンチンカトリック教会の変容——国家宗教から公共宗教へ」(2017年) など。

うさ み こういち
宇佐見耕一 (第6章, 第9章)

元同志社大学・教授。博士 (学術) 筑波大学。専門: アルゼンチン・ラテンアメリカ地域研究, 社会福祉, 社会政策など。主な著作: 「ミレイ政権による社会政策の転換」(2024年), 『ラテンアメリカと国際人権レジーム——先住民・移民・女性・高齢者の人権はいかに守られるのか?』(編著, 2024年), 『新世界の社会福祉 中南米 (第10巻)』(共編著, 2020年) など。

すず き しげる
鈴木 茂 (第12章)

名古屋外国語大学現代国際学部・教授, 東京外国語大学・名誉教授。東京外国語大学大学院地域研究研究科修士課程。専門: ブラジル・ラテンアメリカ地域研究, 歴史学, 人種・民族, 移民など。主な著作: 『ブラジル史』(共編著, 2022年), 『ラテンアメリカにおける従属と発展——グローバリゼーションの歴史社会学』(共訳, 2012年), 「奴隷への郷愁——ジョアキン・ナブーコの奴隷制廃止運動」(2000年) など。

—執筆順, 所属は刊行時—

〈表紙写真〉

(表表紙)

- ・首都ブラジリアで抗議デモを行う社会運動団体(2005年, サンパウロ住宅運動連盟UMM提供)
- ・メキシコ・シティを訪れて歓迎を受ける法王(当時)フランシスコ(2016年, メキシコ大統領府撮影, CC BY 2.0)
- ・ブラジル, サンパウロ市内にある「移民統合センター」。手前の青年のTシャツには「私は移民だった。あなたが私を受け入れてくれた」と書かれている(2018年, 近田亮平撮影)

(裏表紙)

- ・サンパウロ市郊外の貧困層居住地区で洗濯バケツをもって歩く住民(2006年, 近田亮平撮影)
- ・サッカーは男性性(マチスモ)を象徴するスポーツだが, サンパウロのサッカー博物館のトイレには「多様性へのリスペクト」が3カ国語で書かれていた(2018年, 近田亮平撮影)

ラテンアメリカへのお誘い——社会を知り学んでみよう——

電子版 2026年3月9日発行
オンデマンド版 2026年3月18日発行

編者 近田亮平

発行所 独立行政法人日本貿易振興機構 アジア経済研究所
〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2
(電話) 043-299-9735



9 784258 046744

An Invitation to Latin America:

Let's Learn about and Study Its Society

